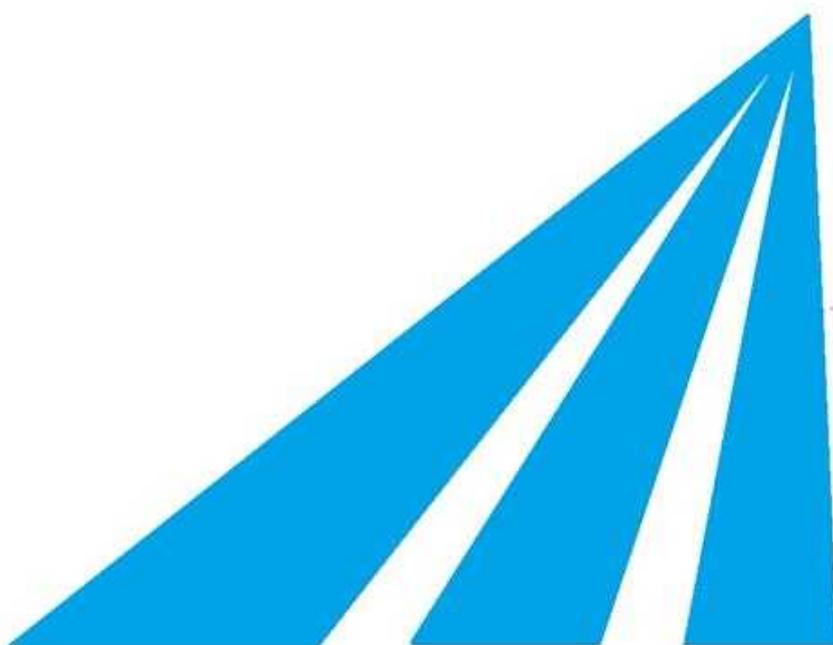


エコアクション 21

環境経営レポート

(対象期間 第53期 2023年10月1日～2024年9月30日)



SANKO MOLD JAPAN

三光金型株式会社

発行日 2024年11月16日



®環境省

エコアクション21

認証番号: 0011354

目 次

	(ページ)
1. 組織の概要と活動の対象範囲	1
1) 事業所名及び代表者氏名	
2) 所在地	
3) 環境管理責任者の氏名及び連絡先	
4) 事業活動の内容	
5) 事業の規模	
6) 活動の対象範囲	
2. 実施体制図	2
3. 環境経営方針	3
4. 環境目標項目とその実績値	4
5. 環境活動計画	5
6. 環境活動計画の取組結果とその評価、今後の取組	6
7. 環境中期目標	7
8. 環境関連法規の遵守状況の確認・評価結果と違反、訴訟等の有無	8
9. 代表者の全体評価と見直し結果	9

1. 組織の概要と活動の対象範囲

1ページ

1) 事業所名及び代表者氏名

三光金型株式会社

代表取締役社長 増田 良平

2) 所在地

第1(本社)工場: 愛知県 みよし市 三好町 半野木 1番地130

(代表)電話: 0561-34-1505 (代表)FAX: 0561-34-3533

第2工場: 愛知県 みよし市 三好町 半野木 1番地40

電話: 0561-34-1550 FAX: 0561-34-1566

第3工場: 愛知県 みよし市 三好町 半野木 1番地143

3) 環境管理責任者の氏名及び連絡先

環境管理責任者: 代表取締役 増田 良平

連絡先: 電話 0561-34-1505 FAX: 0561-34-3533

E-mail: r.masuda@sanko-mold.co.jp

4) 事業活動の内容

樹脂射出成形用金型の設計、製作、販売及び樹脂成形品の製造、販売

第1(本社)工場: 愛知県 みよし市 三好町 半野木 1番地130

敷地面積 1,382.26㎡ 従業員数: 39名

第2工場: 愛知県 みよし市 三好町 半野木 1番地40

敷地面積 1,084.82㎡ 従業員数: 24名

第3工場: 愛知県 みよし市 三好町 半野木 1番地143

敷地面積 656.45㎡ 従業員数: 14名

5) 事業の規模

法人設立年月日: 1972年 2月 8日

資本金 : 1,750万円

売上高 : 9億 8055万円 (第52期 2022年10月1日~2023年9月30日)

従業員数 : 81名 (2024年9月30日現在)

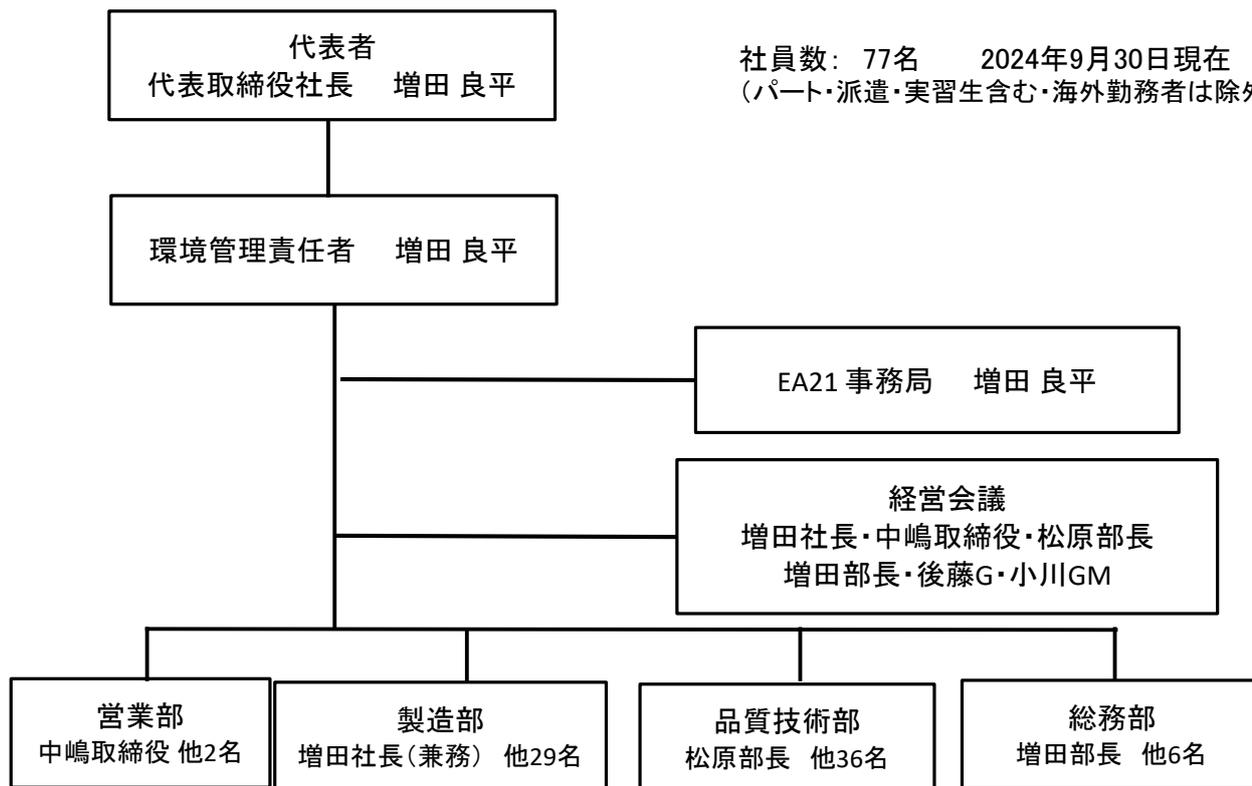
敷地面積 : 3, 123.53㎡

6) 活動の対象範囲

全社:「第1(本社)工場・第2工場・第3工場」

2. 実施体制図

2ページ



社員数： 77名 2024年9月30日現在
(パート・派遣・実習生含む・海外勤務者は除外)

	担当者	役割・責任・権限
代表者	代表取締役社長 増田	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の策定 環境管理責任者の任命 資源(人員・設備・費用等)の準備 代表者による全体の評価と見直し
環境管理責任者	増田	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システム構築・運用・維持と経営会議への状況報告 法規制全体の状況確認 外部からの苦情等の受付対応窓口 環境活動レポートの作成
事務局	増田・清水	<ul style="list-style-type: none"> 環境関連文書及び記録の作成・管理等 社内の法規制の維持・遵守・教育・届け出等の対応 環境活動計画の実施状況の確認
経営会議	経営会議 メンバー	<ul style="list-style-type: none"> 部門における経営方針の展開と、品質目標実行計画書の実行 部門内の法規制の維持・遵守の確認
全社員	全社員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取組の重要性の理解 部門内の法規制の維持・遵守 決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する。

注1： 2019年10月1日の組織改編に伴い、実施体制図も変更致しました。

注2： 海外統括部(4名)は、除外します。

注3： 2020年3月19日 見直し実施

3. 環境経営方針

(第53期 2023年10月1日～2024年9月30日)

弊社は、社是「信頼される 信頼できる 人と会社づくり」に基き、環境に影響する業務がある事を認識して、環境経営システムの構築及び運用をすることにより、自主的且つ積極的に環境への取組みを推進し、環境経営を継続的に改善します。

1. 環境関連法規制や、当社が約束したその他の要求事項を遵守致します。
2. 次の事項について、具体的な環境目標及び環境活動計画を定め実施致します。
 - ① 省エネルギーに取組み、2030年までに二酸化炭素排出量を2019年度比30%低減を目指します(年率▲3%)
 - ② 分別の徹底・リサイクルの推進に努め、廃棄物排出量を削減します。
 - ③ 節水に努め、水の使用量を削減します。
3. 本方針を全従業員に、朝礼や掲示物等により周知徹底し、活動を展開致します。

2023年10月1日

三光金型株式会社

代表取締役 増田良平

4. 環境目標項目とその実績値

第53期 2023年10月1日～2024年9月30日の環境目標項目とその実績値

環境目標項目		単位	上段第52期 実績指数値 下段第52期 実績指数値	第53期 目標指数 値(第52期の 1%減)	上段第53期 実績指数値 下段第53期 実績指数値	達成判定: 数字100以上 は 未達成	目標指数値 と実績の評価
二酸化炭素排出量削減	(ア)二酸化炭素排出量	実績数値 単位kg-CO2	898.39	889.40	705.90	79.37	○
			636,057.28		563,309.27		
	(イ)電力使用量	実績数値 単位kWh	1,985.74	1,965.88	1,789.85	91.05	○
			1,405,901		1,428,299		
	(ウ)ガソリン使用量	実績数値 単位リットル	3.70	3.66	2.07	56.42	○
		2,618.22	1,648.47				
(エ)軽油使用量	実績数値 単位リットル	10.69	10.59	9.00	84.98	○	
		7,571.36		7,179.31			
(オ)LPガス使用量	実績数値 単位kg	1.24	1.23	0.68	55.68	○	
		96.67		52.60			
廃棄物の削減	(カ)木製パレット: 木製バイオマス燃料用	実績数値 単位kg	0.69	0.69	0.38	54.87	○
			490		300		
	(キ)可燃ゴミ排出量(焼却処理)	実績数値 単位kg	11.99	11.87	9.76	82.23	○
			8,490.0		7,790.0		
	(ク)産業廃棄物(コンテナ回収物)	実績数値 単位kg	4.94	4.89	1.35	27.65	○
			3,500		1,080		
(ケ)廃棄プラスチック(フレコン回収)	実績数値 単位kg	28.60	28.31	8.14	28.77	○	
		14,584		4,341			
(コ)廃油(金型課)	実績数値 単位kg	9.34	9.25	8.32	89.91	○	
		1,850		2,204			
(サ)金属くず(金型課)	実績数値 単位kg	16.68	16.52	45.75	277.03	×	
		3,303		12,124			
節水	(シ)水使用量	実績数値 単位m ³	13.79	13.66	14.86	108.79	×
			1,076		1,144		

注:1 指数計算方法: 実績数値÷原単位(期間社内生産高) 第52期:708百万円 第53期: 797 百万円
但し、水使用量・LPガス使用量の原単位は、社員数(77名)です。

注:2 二酸化炭素排出量係数は、2024年度 中部電力ミライズ 0.423kg-CO2/kwh、関西電力 0.423kg-CO2/kwh、
ENESTでんき 0.337kg-CO2/kwhを使用。

注:3 金型課売上 第53期: 265百万円

5. 環境活動計画

5ページ

第53期 2023年10月1日～2024年9月30日の環境活動計画

環境活動項目	取り組み内容	担当部署
電力使用量の削減 (イ)	① 社内の冷暖房温度管理の徹底 (室温 夏季28℃ 冬季20℃ 目安温度)	全社*
	② エアコンフィルターの清掃 (3回/年連休前 実施)	全社*
	③ 不要な照明の消灯 (昼休み・離席時・夜間等)	全社*
	④ エアー漏れ(圧縮空気)の修理 元圧の減圧	製造部
ガソリン・軽油使用量の削減 (ウ)(エ)	① エコドライブの推進・不良低減・ 生産計画の精度向上(遅延解消)	全社*
廃棄物の削減 (カ)(キ)(ク)(ケ)(コ)(サ)	① 分別・仕分け回収の徹底 (可燃物・不燃物・再資源品・産廃等)	全社
	② コピー用紙の削減 (コピー裏紙利用・ペーパーレス会議の推進)	全社
	③不良の低減	製造部
水使用量の削減 (シ)	① 節水活動 (節水表示)	全社
LPガス使用量の削減 (オ)	①節水活動及び設定温度明示	全社

注1: * 付きは、チェックシートが有ります。

6. 環境活動計画の取組結果とその評価、今後の取組

第53期 2023年10月1日～2024年9月30日

電力使用量の削減 (イ)	担当部署	実施結果	評価及び今後の取組
① 冷暖房温度管理の徹底 (夏季28℃ 冬季20℃ 目安温度)	全社	○	基本的にはルール通りだが、 ときどき寒いとき、暑いときに 勝手に変更する場合がある 今後の対応として、リモコン付近へ設定変更不可の明示をする
② エアコンフィルターの清掃 (3回/年 実施)	全社	○	業者清掃、点検へ変更
③ 不要な照明の消灯 (昼休み・離席時等)	全社	△	現場にてルールが守られていないときがある 今後の対応として、全体朝礼時に再教育実施
④ エアー漏れ(圧縮空気)の修理 元圧の減圧	製造部	○	AIR漏れ修理に関してはよくできている 元圧の減圧に関しては、設備異常が発生し戻している

ガソリン・軽油使用量の削減 (ウ)(エ)	担当部署	実施結果	評価及び今後の取組
① エコドライブの推進・不良低減・ 生産計画の精度向上(遅延解消) (対象車…自家用車1台・バン3台・ トラック3台)	全社	○	エコドライブの推進継続 バン1台をハイブリットへ更新済み 営業車1台 減車済み 客先不良件数 減少 客先未納件数 減少

LPガス使用量の削減 (オ)	担当部署	実施結果	評価及び今後の取組
① 就業時間外の元栓締め	全社	○	出来ている。継続実施。

廃棄物の削減 (カ)(キ)(ク)(ケ)(コ)(サ)	担当部署	実施結果	評価及び今後の取組
① 分別・仕分け回収の徹底 (可燃物・不燃物・再資源品・産廃等)	全社	×	可燃物、不燃物についての分別表示が明確でない。 今後の対応として、工場内は燃えるゴミ、燃えないゴミ、産廃の 迷いがなくなるように明示を行い、再教育の実施 →継続実施
② コピー用紙の削減 (コピー裏紙利用・ペーパーレス会議の推進)	全社	○	できている。継続実施。
③ 不良の低減	製造部	○	工程内不良率低下→継続実施

水使用量の削減 (シ)	担当部署	実施結果	評価及び今後の取組
① 節水対策の実施 (節水表示)	製造部	×	工場内水漏れあり クーリングタワーの定期清掃実施 クーリングタワー・ストレーナの毎日清掃の実 施

その他	担当部署	実施結果	評価及び今後の取組
① 緊急事態への対応	全社	○	油漏洩対策実施済み 2025年2月に避難訓練実施予定
② 外部からのクレーム (騒音・振動・その他)	総務	◎	クレームは無し。継続実施

* 実施結果 ◎ 良くてきた ○ できた △ あまりできなかった × できなかった

7. 環境中期目標

第53期 2023年10月1日～2024年9月30日の環境中期目標

目標項目	担当部署	指数の 計算単位	上段第53期 実績指数値	目標指数数値(上段)		
			下段第53期 実績指数値	第54期 1%削減値 (下段)	第55期 1.5%削減値 (下段)	第56期 2%削減値 (下段)
二酸化炭素排出量削減	全社	kg-CO2/ 売上百万円	705.90	698.84	695.31	691.78
			563,309.27	557,676.18	554,859.63	552,043.09
		kWh/ 売上百万円	1,789.85	1,771.95	1,763.00	1,754.05
			1,428,299.00	1,414,016.01	1,406,874.52	1,399,733.02
		リットル/ 売上百万円	2.07	2.05	2.03	2.02
			1,648.47	1,631.99	1,623.74	1,615.50
		リットル/ 売上百万円	9.00	8.91	8.86	8.82
			7,179.31	7,107.52	7,071.62	7,035.72
		kg/人数 (78名)	0.68	0.68	0.67	0.67
			52.60	52.07	51.81	51.55
廃棄物の削減	成形課	kg/ 売上百万円 ×100	0.38	0.37	0.37	0.37
			300	297	296	294
	成形課	kg/ 売上百万円 ×100	9.76	9.66	9.62	9.57
			7,790.0	7,712	7,673	7,634
	成形課 金型課	kg/ 売上百万円 ×100	1.35	1.34	1.33	1.33
			1,080	1,069	1,064	1,058
	成形課	kg/ 売上百万円 ×100	8.14	8.06	8.02	7.98
			4,341	4,298	4,276	4,254
	金型課	kg/ 金型課売上 百万円×100	8.32	8.23	8.19	8.15
			2,204	2,182	2,171	2,160
金型課	kg/ 金型課売上 百万円×100	45.75	45.29	45.06	44.84	
		12,124	12,003	11,942	11,882	
節水	全社	m ³ /社員数	14.86	14.71	14.63	14.56
			1,144	1,133	1,127	1,121

注:1 指数計算方法: 実績数値÷原単位(期間社内生産高) 第52期:708百万円 第53期: 797 百万円
但し、水使用量・LPガス使用量の原単位は、社員数(77名)です。

注:2 二酸化炭素排出量係数は、2024年度 中部電力ミライズ 0.423kg-CO2/kwh、関西電力 0.423kg-CO2/kwh、ENEESTでんき 0.337kg-CO2/kwhを使用。

注:3 金型課売上 第53期: 265百万円

8. 環境関連法規の遵守状況の確認・評価結果と違反、訴訟等の有無

8ページ

第53期 2023年10月1日～2024年9月30日

環境関連法	法の基準・規制値	遵守評価 ○ 適合 × 不適合
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	定期的な産廃収集運搬・処理業者との契約書及び許可証写しの確認・保管(原本は経理にて保管する) 保管基準 60cm×60cm以上表示、飛散・浸透防止・衛生管理 マニフェスト交付 B2,D,E票の保管(5年間),D票90日,E票180日以内に送付 されない場合は30日以内の知事への報告 産業廃棄物管理票交付等状況報告書を知事へ提出 (毎年3/31分迄を6月末迄)	廃棄収集運搬・処理業者との契約書・許可証コピーを入手済み。 マニフェスト綴り有。 保管表示・・・表示済み 届出・6月30日受理済み ○
廃棄物の適正な処理の促進に関する条例	委託先の定期的現地点検の実施	2024年4月18日 点検済み ○
騒音規制法	特定施設の届出 規制基準の遵守義務 (2017年3月末にて、金型工場移転)	2019年7月25日 みよし市環境課へ 更新版を届出提出・ 受理済み ○
振動規制法	特定施設の届出 規制基準の遵守義務 (2017年3月末にて、金型工場移転)	2019年7月25日 みよし市環境課へ 更新版を届出提出・ 受理済み ○
県民の生活環境保全に関する条例	自動車を運転する者は、アイドリングストップを実践する。	社内へ告知済み ○
家電リサイクル法	指定家電の回収処理(テレビ・冷蔵庫 他)	期間中の処理なし ○
PCリサイクル法	PCの回収処理(パソコン本体・モニター)	処理業者に送付 ○
自動車リサイクル法 (リース車を除く)	自動車の回収処理	期間中の処理なし ○
フロン排出抑制法	業務用エアコン等の定期点検の実施	点検・管理リストにて 点検実施済み ○
消防法	消防用設備(特殊消防用設備等)設置届出(消防法第17の3の2)	消防へ届出 ○
SDS/GHSマーク関連	副資材(洗浄剤・離型剤・防錆剤・グリース・切削油・加工油)のSDS・GHS 入手・確認	SDS情報一覧の 作成・配布・教育 ○

<備考>

- 1) 当社に適用される環境関連法規等の遵守状態を確認・評価した結果、違反、訴訟等はありません。
- 2) 関係当局からの違反等の指摘は過去3年間、ありませんでした。

9. 代表者の全体評価と見直し結果

9ページ

第53期(2023年10月1日～2024年9月30日)も弊社経営方針の1つとして、エコアクション21活動(経営方針2:持続的に発展していくために、地球環境と調和した事業活動に取り組む)を実施致しました。第53期実績から見ると、電力使用量は増加しているものの、売上も増加している為、二酸化炭素排出量、電力使用量ともに目標値を達成することができました。今後もやれることが少なくなっていく中で、得意先様よりカーボンニュートラルへの対応が必至である中、細かいところにも目を向け、継続的に改善を実施していかなければいけないと感じております。

環境目標項目の実績値による結果と反省

- 1) 二酸化炭素排出量・・・前年比:-11.4% で減少、指数値も売上増により、前年比:-21.4%で目標達成。引き続きムダのない生産体制及び計画の推進が必要。
- 2) 電力使用量・・・前年比: +1.6%で増加しているものの、指数値換算では売上増により、-9.9%で目標達成。引き続き省力化、AIR漏れ削減の活動を推進していく。
- 3) ガソリン使用量・・・前年比-37.0%で達成
営業車、減車。リモートでの打ち合わせ増
- 4) 軽油使用量・・・前年比-5.2%で達成
品質不具合対応および納入遅延対応の減少による。
- 5) LPガス使用量・・・前年比-45.6%で達成
社員の意識の向上によるものと思われる
- 6) 木製パレット廃棄量(バイオマス燃料)・・・前年比:-38.8%で達成
木製パレットの使用頻度減による
- 7) 可燃ゴミ排出量・・・前年比: -8.2% で達成
ペーパーレス化の推進による
- 8) 産業廃棄物(コンテナ回収物)・・・前年比: -69.1% で達成
工場内での仕分け、リユースの意識向上による
- 9) 廃プラスチック(フレコン回収)・・・前年比: -70.2% で達成
粉碎機購入により、リサイクル使用増の為、減少。再資源化引取り業者に変更した影響
- 10) 廃油・・・前年比 +19.1%と増加も、金型課売上増により指数値では -11.0% で達成。
設備入れ替えにより使用量増加。
- 11) 水使用量・・・前年比 +6.3% で未達
工場内水漏れ原因のクーリングタワーの定期清掃、ストレーナー清掃の実施により削減を図る

第53期は売上の増加、生産ロスの低減により、概ねの指数値で目標を達成することができたが、まだ細かいところに目を向ければ、社員の意識が及んでいないことも多い。

社員一人一人が環境への取り組みに当事者の意識を持てるよう、活動を推進し、継続的に改善を実施していきたい。

上記を踏まえ54期についての【環境経営方針】は継続といたします。

【実施体制】の変更はございません。

2024年11月16日

三光金型株式会社

代表取締役

増田良平